



祝 ご卒業

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の保護者の皆様、義務教育9年間の課程を修了し、立派に頼もしく成長したお子様の姿に、感慨もひとしおのことと存じます。卒業生の門出を、在校生および職員一同、心からお祝い申し上げます。

卒業証書授与式

学校長式辞

校長 鈴木 茂



▲学校長式辞 鈴木 茂 校長

暖かな日差しの中に、春の足音が聞こえてくるこのよき日に、多数のご来賓、並びに保護者の皆様のご列席を賜り、平成29年度卒業証書授与式が挙行できますことに対し、厚くお礼申し上げます。

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

壮行会や生徒総会などでいろいろなメッセージを送ってきました。私からみなさんへ送るメッセージは今日が最後となります。今、みなさんが手にした卒業証書。たくさんのが詰め込まれています。自分の卒業証書をそっと開いて、見てください。

最初に、「卒業証書」と書かれています。これは中学校を卒業したという証しです。次に、自分の名前が書かれていますね。世界であなただけの卒業証書です。その名前をじっと見てください。みなさんはもう卒業です。担任の先生がみなさんの名前を呼ぶのは今日が最後です。中学生としての名前を呼ぶことはできないのです。

次には、あなたの誕生日が書かれています。この日に、あなたは生まれたのです。そして今日まで生きてきました。いろいろなことがあったと思います。でも、みなさんはどんなことも乗り越え、今日、義務教育を終えることができました。この日はどんな日だったのでしょうか。天気はどうだったのでしょうか。どんな日であっても、家族や親せきの人たちはあなたが生まれたことをどれほど喜んでくれたことでしょうか。あなたの命が生まれた日なのです。今日までのことを振り返ってみてください。どれほどのことをしてもらってきたのでしょうか。夜泣きをして寝付かないとき、ずっと寝ずにあやしてくれたのは誰ですか。朝、なかなか起きられない時、大きな声で起こしてくれたのは誰ですか。部活動の大会の日、お弁当を作ってくれたのは誰ですか。あなたの命が生まれた日から、たくさんの方々があなたを見守ってくれました。あなたは、どれほどのことをしてもらったのでしょうか。そして、どれだけのことを返すことができたのでしょうか。あなたにとって、一番大切な人は、いちばん身近にいるのです。

卒業証書の真ん中には、みなさんが中学校の課程を卒業したということが書かれています。そして、その日は、平成30年3月31日です。人生の中でいくつかの節目というものがあります。今日はその節目の一つで、次へのステップの節目なのです。中学校を卒業したという日の意味を、心の中に刻み込んで下さい。人生は節目があるからこそ、次の成長があるのです。今日を境に、みなさんは新たなスタートをします。勇気と自信を持って、素晴らしい人生を歩んでほしいです。

次に書かれている番号は何でしょうか。この番号はあなただけの番号です。東中学校の第1回卒業生からずっと繋がっている番号です。東中学校の卒業生は七千人以上いるのです。そしてあなたが東中学校のよき伝統を受け継いでいるのです。あなただけの番号、あなたは東中学校の伝統の中にいるのです。

最後にもう一つ、お伝えします。忘れてないでほしい最後の最後のメッセージです。手の指を見てください。小指、薬指、中指、人差し指、親指ですが、手のひらを広げ、中の三本の薬指・中指・人差し指を曲げてください。小指と親指が残りました。小指はみなさんです。親指は、みなさんの親や担任の先生、親せきの方など、みなさんの周りにいる人たちです。そっと小指と親指を近づけてください。親指は自然と小指の方を向きます。あなたがどこを見ているときでも、あなたの親や担任、多くの人たちがあなたを見守っているのです。これから、辛いこと、苦しいことがあった時、歯をくいしばり、手を握りしめ、そしてそっと小指と親指を立ててみてください。どんなときでもあなたは一人ではないのです。必ず誰かがあなたを温かく見守っています。素晴らしい生徒に出会えて、幸せでした。ありがとうございます。最後になりますが、保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。素晴らしい生徒たちでした。そして、どんな時でも東中学校の子どもたちを見守って頂いた多くの方々、ご多用の中、ご臨席いただきましたご来賓の方々、保護者のみなさまに感謝を申し上げ、式辞といたします。

平成30年 3月15日

佐久市立東中学校長 鈴木 茂



▲ 白樺祭 意見文発表



▲ 白樺祭 全校合唱



▲ 生徒会 EAST マッチ



▲ 生徒会 三年生を送る会

3月《全校生徒 253名》

1年 81名

2年 72名

3年 100名

全職員 27名(ALT 1名を含む)

三学期 終業式～学年代表意見発表より

3月14日 三学期終業式がありました。各学年代表生徒による意見発表がありました。その内容の骨子を紹介します。

1年2組 大井里夏さん

はじめての部活動、白樺祭体育祭や合唱、テストにむけたテスト勉強、初めてが多くあり不安だったが、楽しかった。2年生になり先輩になる。提出物をきちんと出せるようにしたい。白樺祭の合唱で先輩達のように綺麗な声で歌いたい。まだまだ失敗しうまくできないこともあると思うが、一つ一つ努力して今まで以上にいい結果を出せるようにしたい。

2年2組 桃井妃菜さん

吹奏楽部の部長として、全体を引っ張らなければならない立場。生徒会文芸委員長として、音楽集会や行事、何から手を付けたらいいのか戸惑いもあったが、みんなで協力して楽しくもあった。がんばって実行して達成感があった。3ヶ月だが短い期間でたくさんのいい経験ができた。4月からは3年生としてがんばりたい。

3年3組 川崎涼花さん

3年間で様々なことを経験した。学習面では、総合テストの難しさを実感した。生徒会では本部役員として活動、引き継いだ頃は全校の中心でやっていけるか不安だったが、白樺祭、様々な活動や行事を通して協力していい活動ができ不安は消えていた、2年生へ引き継いだ時、今までやってきて本当によかったと感じ、貴重な経験をすることができた。来年度の生徒会、新しいテーマの元全校でがんばって欲しい。私達3年生は明日卒業式を迎えます。3年間東中で学んだこと、今まで支えて下さった方への感謝の気持ちを忘れずに高校へ進学してがんばりたい。



▲終業式 学年代表意見発表

三学期終業式 校長講話 より ～ 校長先生からのメッセージ

友 さようなら そしてありがとう 再び会えるその時まで

友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている
同じ空の下 どこかで 僕たちは いつも繋がっている

「平成29年度 アルミ缶会計報告」 地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。

収入 492,500円 支出 321,805円（内訳、白樺祭補助150,000円、スポットライト168,505円、ゴミ袋3,300円）

残額は次年度に繰り越します。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

平成29年度末 転退職職員の紹介と御礼

保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

山極俊一郎（教頭）	転任 長野県篠ノ井高等学校犀峽校へ
佐藤 泰彦（2年1組担任・社会）	転任 長野県長野養護学校へ
渡邊 寿生（3年副担任・理科）	転任 佐久市立野沢中学校へ
坂川 奈美（オアシス学級担任・2年副担任・音楽）	転任 立科町立立科小学校へ
北澤 雅彦（1年1組担任・保健体育）	転任 野沢温泉村立野沢温泉中学校へ
遠山 潤一（不登校等生徒支援・英語）	転任 佐久市立浅科中学校へ
宮原 理沙（学力向上支援員・数学）	転任 長野県屋代高等学校附属中学校へ
羽毛田徹雄（業務職員）	退職

ありがとうございました。